

地球温暖化対策実行計画実施状況の点検・評価

和歌山県後期高齢者医療広域連合地球温暖化対策実行計画に基づき、取組み実績及び取組み項目の実施状況を点検し、公表します。

1. 温室効果ガス排出量実績

年度	サーバー室 電気使用量(kWh)	ガソリン 使用量(ℓ)	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素ガス排出量 kg)	削減率
2019年度 (令和元年度)	25,139	441.98	11,961	(基準年)
2020年度 (令和2年度)	16,168	711.91	7,149	-40.23%
2021年度 (令和3年度)	14,896	821.64	7,300	-38.97%
2022年度 (令和4年度)	15,291	622.97	6,017	-49.69%
2023年度 (令和5年度)	15,896	935.08	7,892	-34.02%
2029年度 (令和11年度)	22,625	397.782	10,765	(目標) 10%削減

2. その他の取組み状況と評価

基準年度である令和元年度の温室効果ガス排出量から34.02%の削減となり、「令和11年度に10%削減」という目標を上回る削減率を保っている。

電気使用量は前年度より少し増加したが、昼休憩時の不必要な照明の消灯、長時間使用しないOA機器の節電等を実行し、削減できるよう取組みたい。

ガソリンの使用量については、基準年より大幅に増加している。運転時はできるだけ一定の速度で走るエコドライブを徹底し、近くへ行く時は徒歩や自転車にするなどを職員に周知し、削減できるよう取組みを進めたい。